

みんなの町議会

目次

- 6月定例会の経過・主な補正予算 …… 2～3
- 常任委員会の焦点 …… 4～5
- 一般質問に6名登壇 …… 6～12
- 臨時会・全員協議会 …… 13
- 陳情 …… 14
- あれ なんとなったべが！ …… 15
- よぐきてけだな・がんばってます …… 16

No.143
2020年7月1日

シンボル森山から眺める
絶景は町の宝

臨時子育て世帯応援給付金拡充

高校2年・3年生1人につき2万円

新型コロナウイルス感染拡大防止のための議会対応

1 議場（本会議）

- ・マスク着用（議長席、答弁席、質問席除く）
- ・適切な換気
- ・一般質問の時間10分ほど短縮の申し合わせ
- ・当局側の参加者（＝参与）は必要最小限に
- ・議席の間仕切り



議席の間仕切り設置は前代未聞

2 傍聴

- ・定員40の傍聴席は間隔をとり15席とする



2席空けて、定員半分以下の15席とした傍聴席

3 委員会

- ・換気時間を設ける
- ・参与の出席は必要最小限に

- ・別途「臨時傍聴会場」を用意し対応
- ・会議参加者から感染が発覚した場合に備え、傍聴受付時に連絡先を確認

議会の経過

3月の改選後初となる6月定例会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため上記の対応をし、6月8日から12日まで5日間の日程で開かれた。

初日 渡邊町長は行政報告で、『町の新たな新型コロナウイルス感染症対策、湖東厚生病院の運営、地域公共交通、火葬場改修計画、各種行事の中止、地域おこし協力隊公募状況、小中学校夏季休業短縮』などについて述べた。

2日目 一般質問には新人2名を含む6名が登壇。全員が新型コロナウイルス感染症対策を取り上げたほか、もりやまこども園の運営、郷土愛の醸成、高齢者支援、移住政策、学校給食食物アレルギー対応、除雪に関してなどを質問した。

3日目 当局より、令和2年度補正予算案など14件の議案が提出された後、議案を各常任委員会で審査。

最終日 各委員長報告のあと、人事案13件を含む全議案を認定、可決、同意した。また陳情3件を全会一致で採択、1件を不採択、委員会提出議案3件を可決し閉会した。

（荒川 滋）

町独自の新型

コロナ対応
地方創生臨時交付金
8,402万円

町内中小企業事業継続支援

法人に20万円／個人事業者に10万円

1億2,413万円を追加した
令和2年度補正予算の主なもの

新型コロナウイルス関連

中小企業事業継続支援事業

【支給額】

町内の

法人

個人事業主など10万円(346件)

総額7,200万円

20万円(185件)

五城目町からのお知らせ	
中小企業事業継続支援金	
新型コロナウイルス感染症が町の経済に甚大な影響を及ぼしていることから、町内の農工商業者の皆様へ、事業継続のための支援金を支給します。	
支給額	20万円 対象者：法人(中小企業)
	10万円 対象者：法人を除く事業者(個人事業主など)
支給対象者	
令和元年12月31日以前から事業収入(売上)を得ていて、	
法人の場合は	
令和2年2月1日以前から引き続き3ヶ月以上五城目町に事業所を置き、五城目町の法人町民税が課税されている中小企業であること。	
法人を除く事業者の場合は	
令和2年2月1日以前から引き続き3ヶ月以上五城目町の住民基本台帳に登録があること。	
※くわしくは、裏面をご覧ください。	

町独自の支援第2弾が示された

子育て応援事業

①高校2・3年生一人につき

2万円 総額260万円

②児童扶養手当受給のひとり親家庭に

5万円 総額335万円

③令和2年4月28日(令和3年3月31日

誕生の子ども一人に

10万円 総額400万円



改修される火葬場の実施設計費用計上

火葬場改修実施設計等

2,295万円

コミュニティ助成事業

650万円

農業委員会委員の

任命に同意

一関勇一(男・68歳)

久保・認定農業者

伊藤さくら(女・44歳)

高田・非認定

伊藤春美(女・56歳)

町村・非認定

金子成敏(男・63歳)

上山内・認定農業者

草皆健市(男・67歳)

帝釈寺・認定農業者

小玉正行(男・67歳)

中村・非認定

佐川誠(男・62歳)

野田・認定農業者

佐藤市夫(男・64歳)

谷地中・認定農業者

猿田実(男・69歳)

浅見内・非認定

澤田栄一(男・70歳)

湯ノ又・認定農業者

竹内治子(女・48歳)

恋地・中立

館岡晃(男・62歳)

高崎・認定農業者

八柳三郎(男・75歳)

大川・非認定

任期・3年間

(荒川 滋)

中小企業事業継続支援に 7,200万円

総務産業 常任委員会

新型コロナウイルス感染拡大が地域の経済に甚大な影響を及ぼしている。町内の商業者に事業継続のための支援金が支給されることについて審査され、委員からは「町内在住の経営者が町外で事業を営む場合、逆に町外の経営者が五城目町で事業を営む場合の支給について」の質問があり、当局からは「町内在住で町外で事業している時は、住所が町にあるので該当する。逆に町外の人が事業を営む場合は、町に住所がないから該当しないが、法人の場合、法人町民税を町に納めていれば該当になる」との説明があった。

支給額

- 法人 20万円
- 法人を除く事業者（個人事業主など） 10万円

支給対象

- 令和元年12月31日以前から事業収入（売上）を得ている法人
 - 令和2年2月1日以前から引き続き3カ月以上五城目町に事業所を置き、町の法人町民税が課税されている中小企業。法人以外の事業者。
 - 令和2年2月1日以前から引き続き3カ月以上待ちの住民基本台帳に登録がある者。
- 総事業費は7,200万円。

国民健康保険条例 の一部改正

- 医療保険分の限度額を61万から63万円に。
- 介護保険分の限度額を16万から17万円に。
- 国保税の最高限度額を96万から99万円に。
- 後期高齢は引き上げなし。
- 軽減の所得判定は、5割軽減で5千円を引き上げ、2割軽減で1万円を引き上げる。

委員からは「結局、値上げでは。7割軽減者は何人いるのか」と質問があり、当局から「7割軽減者に改正はないが約2千人いる。2割軽減者と5割軽減者の該当になる幅が広がったという事」と説明があった。

（畑澤 洋子）

コミュニティ助成事業650万円

採用は3団体

◎一般コミュニティ助成事業

団体名 雀館町内会

助成額 250万円

テント・エアコン・ストーブ・除雪機など。

◎地域防災組織育成事業

団体名 帝釈寺自主防災会

上山内自主防災会

助成額 200万を2団体

内容は物置・テント・折たたみリヤ

カー・ブルーシートなど。



備品が充実する雀館町内会館

教育民生 常任委員会

ICT導入は 様々な可能性の検討を

小学校校舎改築にともない、旧校舎のネットワーク環境を移設する必要がある。今回、63万6千円が移設にともなう機器借上費として計上された。

委員から「国から全額補助される※GIGAスクール構想の補助金は使わないのか」との質問があり、担当からは「今回はあくまでシステム機器の移設とアクセスポイントの増設を行うもので、補助対象にはならない」との説明があった。

今後購入予定の新規のPC選定について委員からは「学校運営協議会など第三者の意見も取り入れながら機器選定の検討を進めてほしい」との要望があった。

また、PCやネットワーク機器の選定は保守管理も含め、すべてまとめて五年間で契約となっていることから、個別の機器の解約ができない状態である。ICT機器は日進月歩で機器



タブレットやPCを日常的に利用する環境へ

が更新されていくことから、契約条件を含めて様々な可能性を模索して金額や機器選定の比較検討を行うように求めた。

※GIGAスクール構想
Global and Innovation
Gateway for ALLの略で、義務教育を受ける児童生徒のために、一人一台の学習用PCと高速ネットワーク環境などを整備する5カ年の計画です。コロナ禍を受けて、今回前倒しで予算がついています。

すずむしクラブが30分延長

来年4月から、学童保育すずむしクラブ（小1～3）が、わかすぎクラブ（小4～6）と同じく18時半まで対応する。また、町外から子どもを迎える際に渋滞して遅くなるなど、迎える時間が18時半を超える時にも臨機応変に対応できるようにする。

委員からは「秋田市内では、学童保育は民間事業者が100%である」との指摘があり、町でも、今後学童保育の民間業務委託も含めて検討すると担当から説明があった。



学童時間延長で、より子育てしやすい町へ

コロナ対策が拡充

新型コロナウイルス対策として、国民健康保険被保険者が、新型コロナウイルス感染症に感染し、または感染が疑われる場合に、傷病手当金を支給することができると条例の改正を行った。

委員からは、対象となる人の雇用形態に関する質疑があり、担当からは給料が減額したという事業主からの証明があれば雇用形態にかかわらず対象となる旨の説明があった。

一般質問

6議員が登壇 我が町政を問う

一般質問とは？

- ・年4回の定例会において、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。
- ・答弁を含む一人当たりの持ち時間は60分で、事前通告制が採用されています。
- ・質問をするかしないかは、議員個人の判断によります。

質問者

椎名 志保 議員

- 新型コロナウイルス感染症対策関連について
- もりやまこども園の運営について
- 地域図書室のあり方と学校と地域の関わりについて

荒川 滋 議員

- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 町内会活動の活性化と町民参加、主役の町政で郷土愛の醸成を
- 森林環境譲与税
- コロナ禍で地方が注目されている今、空き家利活用と移住定住の推進を

工藤 政彦 議員

- コロナ禍における小中学校の状況について
- ICT教育の拡張について「GIGAスクール構想」への対応
- 子供の遊び場の確保について
- 高齢者の在宅生活支援と在宅介護支援について
- 防災無線の充実について

松浦 真 議員

- withコロナ時代の学校教育活動等の実施における「学びの保障」の方向性
- 県外からの移住政策について
- 公共交通について

畑澤 洋子 議員

- 「学校給食」食物アレルギーを有する児童生徒の視点に立った対応を
- COVID-19による自粛便乗の事業の中止・延期と、2波3波の備えについて
- 町民の健康維持に赤倉山荘の温泉の活用を

斎藤 晋 議員

- 新型コロナウイルス発生時の台風などの災害時の避難対策及び避難所の新型コロナウイルス感染対策は
- 新型コロナウイルスのワクチン及び新薬の開発が遅れており、町の経済に対する影響も徐々に始まっている。長引く影響に対し今後の町の経済対策は。
- 町を通る、国道・県道の歩道の管理の所在及び管理状況は。
- 除雪説明会の開催はいつか。除雪業者の数は足りるのか。除雪単価の見直しはあるのか。

*誌面の関係上掲載できなかった●印の質問については、町ホームページにて議会映像を配信しておりますのでそちらをご覧ください。

五城目町議会映像配信中 www.gojome-town.stream.jfit.co.jp



意義ある発言機会は大事な議員活動の場といえます。

議会を傍聴してみませんか？

傍聴の手順をご紹介します。事前連絡は不要です。

- ①役場4階へ上がります。
(エレベーターをご利用ください)



- ②議会事務局前で受け付け。
(受付表に必要事項を記入)
(手指の消毒剤あります)



- ④町の方向性を直接聞くことができます。
(開会中はお静かに願います)



- ③階段で傍聴席へ。
(定員40名)



※新型コロナウイルス感染拡大の防止および、傍聴におこし下さる皆様の健康を守る観点から、当分の間、傍聴を自粛いただく場合がございます。 お問い合わせ先 議会事務局 018-852-5411

一般質問

事業者支援は充分か

町長 スピード感を持って行う



椎名 志保

椎名 新型コロナウイルス感染症対策として町の独自支援となる「中小企業事業継続支援事業」は一律給付で、平等な支援と言えるのか。実状の把握に努め、影響のあった所に、より手厚い支援が行われるべきではないか。

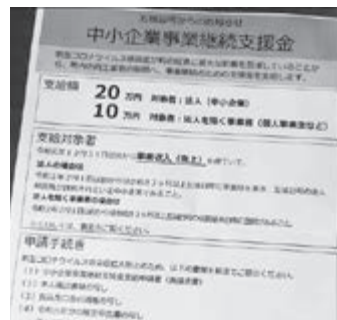
「持続化給付金」「雇用調整助成金」「休業協力金」など、国や県の支援策の周知も充分ではない。事業者に対し、きめ細かい呼びかけと申請の手助けも必要だ。

町長 町内商工業者にはスピード感を持って一律に支援金を支給する。国や県の支援策は、町広報やホームページで周知に努めている。制度内容や支援対象かといった相談に応じ、今後も可能な限り、サポートしていく。

椎名 町出身の予備校生や大學生への支援は行わないの

か。経済的な助けとなることはもちろんのこと、故郷からの応援が精神的な励みになるのではないかと。

町長 学生に対しては、国や各大学独自の支援策が行われている。広範囲にわたる支援が必要なことから、国の特別定額給付金の早期給付に努めた。学生などに対する町独自支援も検討している。



次なる対策が必要

学校・福祉の現場対策は

椎名 児童・生徒の保護者から、学習の遅れや受験対策、夏休み期間中の出校があるならば、エアコンの無い小学校の暑さ対策などに不安の声が聞かれている。再び感染の恐れによる休校となった場合を想定し、オンライン授業の準備を進めることと合わせ、子

どもがトラブルに巻き込まれないよう、まずは保護者が基礎知識を学ぶ機会を設けてはどうか。

教育長 小中学校共、夏休みを短縮し、7月27日から31日まで午前中に授業を行うことにしている。受験対策としては7月から2月までの放課後と夏休み中4日間、学習支援を行う。小学生には「五小つこ学習会」を予定している。

オンライン授業の実施に向けては、各家庭のICT環境の調査と整備を進め、保護者に対しても研修の場を提供していく。

椎名 町内の老人介護施設などに感染者が出た場合、各事業所の対応を把握し、必要であれば町として出来る支援の備えをすべきではないか。

町長 各施設における感染症対策のマニュアルは策定済みであり、県から協力要請があった場合は積極的に対処する。

もりやまこども園への支援強化を

椎名 もりやまこども園は、園児の減少や大川分園園舎の

維持管理などの負担もあり、赤字経営が続いている。町として、より経済的な支援が必要ではないか。

町長 園児の定員の見直しによる給付費の増額や、職員の配置や勤務体制を見直し、令和4年度を目標に黒字転換を図ることである。今後必要な支援は行っていく。

椎名 経営面や行われる保育・教育について、もっと連携を密にしていくために、園と行政をつなぐ専門員を配置できないか。

町長 今年度から、保育士免許資格を有する職員を含む2名を配置している。また連絡会議を増やし、園・学校教育課・健康福祉課三者の連携を密にし、情報共有を図り、専門員の必要性を検討していく。



きめ細かな保育活動が行われる大川分園

一般質問

新型コロナ経済対策 商品券の発行を

町長 国の第2次補正予算成立後
経済回復事業を展開する



荒川 滋

荒川 勤務先の業績悪化により雇用短縮、収入減少に直面している住民が増えている。個人への支援として経済効果も考慮し、地元資本の事業所で利用できる商品券の発行を検討すべき。

町長 国の第2次補正予算が成立し、町への地方創生臨時交付金配分額が決定後、スピード感をもって町の経済回復と活性化を主眼に事業を展開する。

地域の絆、住民参加、郷土愛の醸成を

荒川 町内会はコミュニティ、防災上とても重要な組織だが、単独での活動が困難で統合・合併が必要などところがある。

る。新型コロナの影響で地域の絆が薄れている今だからこそ、町が助言して進めるべきではないか。

町長 町内会の意思を尊重しながら必要に応じて支援していきたい。また、コミュニティ生活圏形成事業の拡大も新たな解決策として捉えている。

荒川 町民主役で参画しやすい町づくり推進のために、無料通話アプリLINEの『地方公共団体プラン』で『五城目町公式LINE』を取り入れるべき。

町長 受信する町のパソコン端末にアプリを入れ更新した場合のセキュリティ調査を進める。

荒川 観光や中心市街地の活性化の観点でも重要で、郷土のシンボルともいえる施設が相次いで営業を終えた。民間の事業所ではあるが、何らかの手立てはできないか。

町長 個々の事業所の経営について、行政の立場上コメントは控えさせていただく。



基幹産業『林業』の復活を

好期を迎えている林業、人材確保と育成を確実に

荒川 森林経営管理制度により大きな転換期（好期）を迎えている林業。自伐型林業の推進、人材確保と育成が必要だ。

町長 自伐型林業事業者がいるかの確認と、採算性や環境保全を含め検証が必要。森林環境譲与税を活用した人材育成研修を含め検討を加えていく。

地方注目の今、空き家利活用と移住定住推進を

荒川 大都市への人口集中の怖さが思い知らされ、あらためて地方が注目されている。空き家借り上げ・再生・活用、相談窓口設置、空き地バンクなど、これまでより踏み込んだ施策が必要。場合によっては民間業者との連携も必要になる。

町長 空き家利活用と移住定住推進にあたる地域おこし協力隊の早期設置を進める。今後増加が予想される空き家などの対策については、官民連携も視野に鋭意検討していく。



アフターコロナに向け、受け入れ態勢万全に

家族介護慰労金の 増額を提案する

町長 様々な角度から考えていく

あなたにかわって
聞きました

一般質問



工藤 政彦

工藤 重度要介護高齢者または認知症高齢者を在宅で介護している家族に、介護慰労金を支給する「家族介護慰労金支給制度」を町単独事業で実施しているが、月額7千円を年額約10万円に増額できないか。

町長 一人ひとりの状態に合わせた介護や生活支援サービスを提供し、家族の負担感を軽減させることが重要であると考えている。県内では、当町含め3自治体がこの様な支援制度を実施しているが、様々な角度から考えていく。

工藤 施設に入りたくない高齢者や介護のために他人を家に入れたくない家族も多く、家族で介護をする傾向になっている。その様な実情を十分

にご理解いただき、増額の検討を提案する。

「GIGAスクール構想」への対応は

工藤 新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、休業が長期化し、教育課程の実施に支障が生じることが予想される。

小中学生に一人一台のパソコンを使える環境を整備する「GIGAスクール構想」の実現前倒しに向けた国の動きが出ているが、対応を進めているか。

教育長 今回の国の事業で児童生徒全員にタブレットPCが行き渡るよう支援を受けられることになり、小・中学校合わせて283台分の補助申請を予定している。詳細については今後変更になる場合がある。

工藤 この構想は、学校ネットワーク環境の整備、GIGAスクールサポーターの配置、家庭学習のための通信機器整備などを支援するもので

ある。学校改築の補助と重複しないよう、早急に対処することを望む。

子供の遊び場の確保を

工藤 10月末、雀館に小学校が完成すれば、間違いなく雀館運動公園一帯が町のメインになる。公園と小学校という賑やかな光景が目に見え、公園からは、新校舎の背景に五城目町のシンボル、森山が望める。そこで、雀館公園の駐車場側の斜面とモニユメントのある緑地帯を利用した子供の遊び場「アスレチック」の設置を提案する。

教育長 雀館公園は桜の公園復活に向けて、桜の植栽・管理の強化をしている。駐車場隣接緑地帯は、公園の花を楽しめるよう、ベンチや小川などを設置し、町民の憩いの場になるよう努めている。「アスレチック」の設置については、町道雀館幹線

の交通安全面と、温水プール裏手の芝生広場の遊び場や、桜への影響等を考慮に入れながら、関係各位と協議していく。

工藤 温水プール裏手の遊具は馬場目川の側であることから危険だ。新校舎ができることにより、建物の背後にある遊具というイメージが強くなる。雀館公園の斜面を綺麗に整備し、様々なアトラクションを設置した一帯をイメージするだけでワクワクする。仮称「チャイルドパーク雀館」とし、他町からの誘客も期待でき、設置を強く提案する。



アスレチックのイメージ

学童保育の時間延長を

一般質問

教育長 来年4月から30分延長する



松浦 真

学びの保障を進めていくために

松浦 コロナ第2波や他の感染症、災害および、個別最適化の学習に向けた、小中学校のWi-FiネットワークやLTEがない家庭の状況調査結果はどうか。

教育長 臨時休校などが続く場合、学校でWEB会議システムなどを利用したオンライン授業について「やってもよいと思う」が約86%。約95%のご家庭ではインターネットに接続できる環境を持っている。

一人一台のPC環境構築に向けて

松浦 一人一台4万5千円のPC環境整備予算について、PC選定、業者の選定はすでに行っているのか。

教育長 JIS基準のキーボードがついていて、マウスが使用でき、多彩な周辺機器に対応したWindowsタブレットPCを予定している。

業者の選定については、早急に検討していく。

松浦 Windowsタブレットはその他のchromebookやipad airに比べて処理速度が遅く、使いづらいつと指摘されている。選定方法もあらためて第三者を入れて検討してもらいたい。

一人一人の学習権の保障を

松浦 学校に通いづらい子どもたち向けに、出席と同等の学習権が保障されるべきである。世田谷区や岐阜市では公設のフリースクールや不登校特例校などがあるが、町では校舎改築と図書室の新設を契機に議論を深めることができる。具体的な議論をはじめたいのか。

教育長 教育委員会としては、児童生徒一人一人の状況や地域の実状に応じた支援を講じていく。学習支援の在り方、新校舎や図書室の活用も含め、多様な教育機会の確保や学びの場の提供についての方策を検討していく。

学童の時間延長を求める

松浦 来年度以降の学童保育の開設時間は午後7時まで延長可能になるか。

教育長 放課後児童クラブ（すずむしクラブ）の開設時間については、現在午後6時までだが、高学年の放課後児童学習クラブ（わかすぎクラブ）は午後6時半まで開設しているため、すずむしクラブも新年度から午後6時半まで延長したいと考えている。

連絡していただければ臨機応変に更に時間を延長して保育することも可能としたい。



午後6時半まで延長が決定

公共交通の検討を

松浦 自動運転のオンデマンド型の二人乗り電気自動車など、ユーザーが選択できる公共交通サービス導入の検討はしているか。

町長 二人乗り電気自動車などいわゆる超小型モビリティについては、比較的短距離利用のレンタルやカーシェアリングでの導入が考えられるが、運転に際し普通免許を要することから、交通弱者のモビリティとは言えず、現時点において検討は進めていない状況。

しかし、近い将来の法改正などを注視し、情報収集に努めたいと考えている。



自動運転社会をめざして

あなたにかわって
聞きました

一般質問

食物アレルギーでも みんなと給食を

教育長 児童に危険が及ばないことが
一番重要



畑澤 洋子
(公明党)

畑澤 「給食が一番の思い出」と言う人は多いが、給食を食べられない児童生徒もいる。食物アレルギーの児童生徒の実態と給食の対応は。

教育長 アレルギー対象者は小学校で23人。うち給食の除去食は16人、代替食が8人。中学校ではアレルギー対象者が8人。うち除去食3人、代替食3人となっている。

畑澤 全食弁当対応の児童がいるのはなぜか。

教育長 全食弁当対応の児童はアレルギー食品の種類が多く、現給食施設的环境では対応できないため。

畑澤 新校舎建設中の今なら可能ではないか。

教育長 設計にアレルギー対応食調理室が設置されているが、人手不足が重要な課題だ。

温泉の改修で再び
にぎわいを



泉質と環境の良さで再興を

畑澤 老朽化著しい赤倉山荘は築41年目。総合発展計画で今年はトイレ改修、来年は浴室改修を予定している。一気に改修して、泉質・効能の良さを前面に出し、人が集まる「にぎわい」を取り戻してはどうか。

町長 総合発展計画からずれ込み、修繕計画を延長している。赤倉山荘の目標使用年数は60年で、経年劣化はあるが使用は可能だ。今後、施設の存廃や建物自体のあり方に検討が必要。大規模改修へ踏み切るべきかの判断まで時間が必要だ。

コロナ禍でも必要な事業は実施を

畑澤 新型コロナウイルスによる緊急事態宣言で、3密回避のため町の事業や各種大会などが中止となった。乳幼児の検診や予防接種、特定検診やがん検診などは、対策をしっかりとって実施するべきだ。

町長 3月の乳幼児検診は延期したが、その後、3密対策を講じて実施している。

予防接種は、タイムリーに実施できるよう対応する。

集団検診は、様々な困難から中止にした。特定検診と後期高齢者検診は、全県の医療

機関で個別に受けられる体制を整えた。その他の検診も年内実施に向け検討している。

畑澤 2波3波による休校に備え、オンライン教育を自宅で受けるためのネット環境調査・タブレット無料貸し出しなどの対応が必要では。

教育長 再び臨時休校になった場合、授業の遅れを取り戻すことが困難になる可能性がある。家庭用パソコン、タブレット、スマートフォンなどを活用したオンライン授業を視野に検討する。



「健康に育ってほしい」母の願い

一般質問

コロナ対策時・ 災害避難所は安全か

町長 間仕切り・室内テントは十分に装備されて
いない。更なる整備を検討したい



間仕切りはコロナ対策にもなる

斎藤 新型コロナウイルス発生時の災害避難所の数と収容人数は。
町長 一人当たりの専有スペースは2㎡としており、指定避難所15カ箇所で合計7,037人の収容人数である。



斎藤 晋

斎藤 避難所でのソーシャルディスタンス対策は。

町長 感染防止のため、3密の回避・マスクの着用・手指の消毒の徹底、多くの部屋を活用するなど新たに必要になる。そのため、個人または家族ごとに2m以上離して配置する。避難者が多数発生する大きな災害を想定し、間仕切りパーティションや室内テントを配置しスペースを確保したい。

町民・学童が通行する歩道の管理は

斎藤 国道・県道の歩道が草ボーボーである。見通しも悪く、歩行の邪魔になっている。この歩道管理の所管はどこ、そしていつ除草するのか。

町長 国道7号線は国交省所管の管理になる。285号線と県道全線に関しては、秋田地域振興局であり全町を5業者のJVで年間管理委託をしている。今年は少雪であり、雪解けが早く草木の伸びも早



草ボーボーで見た目も悪い歩道

かった。児童の通行する歩道は危険なため、早めに除草するよう県に要望したい。

斎藤 町道の歩道に関して年間管理状況は。

町長 路肩や植樹帯の雑草などの草刈りに関し例年通り計画的に進めている。草丈の状況を見ながら交通に障害となる所や、通学路を優先的に実施してきている。

斎藤 見回りを強化してほしい。また、見回り強化のため町内会などに委託し安全安心に通行できるようにしてほしい。



草のため歩道が狭くなり危険

その他に
○避難所の救急体制・衛生対策は。避難所の管理人員は。
○新型コロナウイルスのため、商工業は影響が大きい。対策は。
○新型コロナウイルスのため、農林業は影響が大きい。対策は。
○国・県の新型コロナウイルス感染対策は。
○除雪説明会はいつ。除雪業者の数は足りるか。除雪単価の見直しはあるか。
などを質問しました。

第2回臨時会

令和2年4月28日

付議案件

① 工事請負契約について 学童施設改築工事

16社が参加し行われた指名競争入札の結果、税込1億472万円で(株)長谷駒組(秋田市)と契約。工期は今年11月30日。

② 特別職の給与並びに旅費に関する条例の一部改正

町長、副町長、教育長の夏季期末手当(ボーナス)減額。額は全額で3人合計264万円。コロナ対策事業の財源に充当する目的。

③ 令和2年度一般会計補正予算

① 国民一人当たり10万円支給の 特別定額給付金事業

9億1,800万円

② 児童手当受給世帯の対象児童一人につき1万円支給する 子育て特別給付金事業

7,300万円

③ 新型コロナウイルス対策事業(布製マスク配布・消毒液等物品購入・子育て世帯支援)

2,000万円



マスクに添えられた心あたたまるメッセージカード



小学校新校舎に隣接の学童施設建設予定地

議会議員全員協議会

第3回 令和2年4月28日 会場: 役場4階議場

協議事項

① 新型コロナウイルス感染症対策について

- これまでの経緯と町の対応
- 町独自の緊急対策
- ・臨時子育て世帯応援給付金
- ・0歳〜高校1年生一人につき1万円 (700万円)
- ・感染予防対策用マスク支給事業
- ・町内縫製会社製造の布製マスクを町民1人につき2枚支給 (780万円)
- ・感染予防対策用物品等購入事業
- ・不織布マスク・消毒液等購入 (520万円)
- 国の緊急経済対策について
- ・特別定額給付金 対象者一人につき10万円
- ・子育て特別給付金 対象児童一人につき1万円

第4回 令和2年5月26日 会場: 役場2階 正庁

協議事項

① 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・これまでの経緯と町の対応
- ・新たな緊急支援対策4事業について

(詳細はP3補正予算を参照下さい)

② 五城目町斎場改修計画について

- ・これまでの2炉1系統の火葬炉を2炉2系統のシステムに変更
- ・既存床面積334㎡に261㎡増築、合計595㎡
- ・面積1000㎡駐車台数21台の駐車場新設
- ・令和3年度より工事開始(令和4年度まで)

③ 五城目町一般廃棄物埋立処分場改修計画について

その他

- ① 町議会としての新型コロナウイルス感染症対応議員研修費123万2千円を新型コロナウイルス対策に充てるよう申し出

(荒川 滋)

陳情と意見書

五城目町議会が6月定例会で議決した意見書を各関係機関に提出しました。

採 択

◆教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書採択の陳情

秋田県教職員組合

執行委員長 櫻田 憂子
男鹿南秋支部長 鳥井 政之



教育環境改善と教職員の働き方改革のために

意見書提出先

衆議員議長 大島 理森
参議員議長 山東 昭子
内閣総理大臣 安倍 晋三
文部科学大臣 萩生田光一
財務大臣 麻生 太郎
総務大臣 高市 早苗

採 択

◆地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情

連合秋田男鹿潟上南秋地区連絡会

議長 太田 修

意見書提出先

内閣総理大臣 安倍 晋三
内閣官房長官 菅 義偉
総務大臣 高市 早苗
財務大臣 麻生 太郎
経済産業大臣 梶山 弘志
内閣府特命担当大臣
(地方創生規制改革担当) 北村 誠吾
(経済財政政策担当) 西村 康稔

採 択

◆秋田県主要農作物種子条例の制定をもとめる陳情

食と緑、水を守る

秋田県労働市民会議
議長 石田 寛

意見書提出先

秋田県知事 佐竹 敬久



農家の利益第一に現場不安払拭を

不採 択

◆五城目町大川西野字田屋下の地籍更正登記陳情

千葉県柏市 小熊 有二

陳情・要望について

町政に対するご意見・ご要望があるときは、誰でも町議会に陳情書・要望書などを提出することができます。提出された陳情書・要望書などは、委員会で審査されます。その結果、願意が妥当であると認め、本会議で採択された場合、町や教育委員会などの関係機関に対する措置要求、国や関係行政庁に対する意見書の提出などを行います。

陳情書および要望書を作成するときの注意点

- ・2つ以上の内容について陳情および要望する場合は、それぞれの内容ごとに分けて作成してください。
- ・陳情・要望事項および陳情・要望理由は、邦文で分かりやすく書いてください。
- ・提出部数は1部です。
- ・受付は議会事務局で随時行っています。
- ・受理後に内容等の確認を行うことがありますので、連絡先と担当者名をご記入ください。

様式など詳しくは町ホームページでご確認願います。

<https://www.town.gojome.akita.jp/seigantinzyou/816smf.html>



あれ

なんとになったべが！

令和元年6月定例会一般質問より

問

五城目小学校建設の実施設計に、地元産木材の活用推進をどう反映させたか。

1年前の答弁

内装の木

質化を図っている。
業者にはできる限り
地場産材を使用する
ようお願いしていく。

現在

教室や廊下など各
所に木質化を図って
いる。特に体育館、
階段教室には五城目
産材を含む県産材の
杉材を使用している。



全容が現れた五小新校舍

問

母親が育児休業を取得した場合、家庭に保育の手があると見なされ、上の子の退園を余儀なくされる現状がある。継続して保育が受けられるよう改善すべきではないか。

1年前の答弁

その家庭の实情に応じ、継続入所が出来ないか園側と協議を重ねている。

現在

在園児が4歳児・5歳児の場合のみ申請を受け付けていた、育児休業による短時間保育での継続入所申請について、園と協議を重ね、在園児の年齢にかかわらず受け付けることになった。

問

ふるさと納税返礼品の見直しとして、これまでの物品返礼品だけでなく、貢献型や思いやり型返礼品も必要ではないか。

1年前の答弁

自分のためでなく誰かのための「思いやり型返礼品」などに関する検討は十分ではなく、今後先進的な事例を調査し、対応可能な事業を検討する。

現在

町内会などに対するまちづくり活動支援、町内に住む家族や親戚に対する乗合タクシー回数券贈呈などの先進事例を参考とし、現在、町として対応可能な「思いやり型返礼品」を検討して、令和2年度中の提供に向けて準備を進めている。

問

新しい小学校の通学路は安全なのか、早急に整備すべきである。

1年前の答弁

小学校の移転改築に伴い、児童の居住分布を予測し、通学路やスクールバス・スクールタクシーの運行区域、路線の見直しが必要となり、現在変更作業を行っている。今年度中に学校や関係機関と協議し、新しい通学路を設定したい。新たに設定した通学路を関係者と実際に歩いて危険個所の把握に努め、新校舎完成までに段階的に整備する。

現在

令和2年2月の五城目小学校PTA全体会において、保護者に向け説明を行っている。今後、夏季休業前に学校側と保護者で実際に通学路を歩いて危険個所などの確認を行う予定となっている。

よび
きてけだな



「五城目で のんびり子育て」

○いつ、どんなきっかけで
五城目へ

横浜から初めて五城目に来たのは2017年3月。五城目で行われた子供の教育キャンプに長男と参加しました。3月の終わりでしたが積雪が多かったため5月の連休に再び家族で五城目へ。シェアビレッジに宿泊し、地域の方々に、学校のこと、朝市のこと、日々の生活など町の暮らしについて教えていただきました。



BABAME BASEで勤務中（写真右）

○これからに向けて

昨年より五城目地域活性化支援センター（BABAME BASE）で事務のお手伝いをさせていただいています。3年前、移住のきっかけとなった教育キャンプで訪れた場所と縁を、BABAME BASEへつらつとつなぐ方とご縁をつないで、五城目との関わりを深めていけたらと思っています。

（松浦 真）



橋本 洋美さん
（新 町）

○五城目で生活していて
感じる点

ここで子育てができたらし、と思う反面、当時の生活から環境が大きく変わるため（車の運転や雪など）覚悟は必要でしたが、来てみれば町内の方々はじめ、小学校の先生、朝市でお会いする方々、多くの方に気にかけていただき助けていただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

がんばってます

町の輝く存在に



五城目第一中学校
生徒会長
小玉 閃さん
（新里町）

五城目第一中学校を明るく楽しいものにするために生徒会活動に力を入れています。

6月に行った生徒総会では、ほぼ全ての学年や委員会が挨拶に力を入れたという目標に掲げていました。

また、私たち生徒会執行部は、毎週火・木曜日に挨拶運動を行うなどたくさん活動をしています。今は新型コロナウイルスの影響もあり、町の方々と一緒に挨拶運動はできないのですが、以前の状態に早く戻れ

ることを期待しています。明るい挨拶を将来につなげ、伝統を受け継ぎながら発展させていきたいです。

この他にもインターナショナルデーの進行や運営、ゴチユ丸のコスチュームで五城目小学校での挨拶運動、オリジナルな五中祭の企画など全校で取り組んで地域に発信しています。

五城目第一中学校が地域に愛され続ける学校を目指し、生徒会執行部として、行事の企画や挨拶など、これまで以上に頑張っていきたいです。「町の輝く存在に」を目指して生徒会活動を続けます。

（工藤 途子）

編集

後記



平成から令和へと時代が移り、記念すべきオリンピッククイヤーとなるはずだった2020年。未知なるウイルス到来の只中、6月定例会を滞りなく終えることが出来ました。質問者6名が、町の発展を願い、町民の代表としてそれぞれ熱のこもった質問をしました。町民の皆様からお聞きした課題を余すことなく町政にお届けし、理想の実現に向けて邁進してまいります。ご一読いただけますと幸いです。

新しい小学校の校舎の建設も、着々と進んでおります。最新設備が備わり、新しい時代の教育が可能だけでなく、町の歴史やその良さを存分に詰め込んだ未来がそこにはあります。新型コロナウイルスによって先行きが不透明な時代にあっても、五城目町は着実に一歩を歩み続けています。町民一丸となって、この困難な時代を共に乗り越えていきたいと思います。

議会広報編集委員会
副委員長 工藤 政彦 記

